

JREL 仙台 組織部情報

J R 東労働組合仙台地方本部組織部

2020年 5月 1日

発行責任者 大越 和人
NO. 3

特集

新型コロナウイルス でも、ジョブローは止まらない！？

新型コロナウイルスへの対応に奮闘している中、本人希望を無視した転勤が各地で発生している。ジョブローテーションは会社の都合を押し付ける施策なのか？

運輸区廃止に伴い指令への異動

現場長と平行線の議論の末、強行実施

乗務員の安全意識を営業職場に広めてほしい？？？

希望もしていないのに乗務員→駅への発令

本人へ事前の打診もなく、一発発令！！

仙台支社管内においても、本人へ事前の打診もなく、関連会社への出向が計画されていた事象が発生しています。ジョブローテーションの団体交渉で会社が言っていたことは、自己申告書や面談、普段のコミュニケーションで本人希望を把握していくということです。何のために把握するのか？会社の姿勢を疑わざるをえません。「任用の基準」ばかり全面に押し出されている現状を許してはいけません。

また、首都圏支社から地方職場に異動した社員に対して2週間の自宅待機を指示しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応かもしれませんが、このような状況で必要な異動なののでしょうか？

仙台地本として「新型コロナウイルスに関する緊急申し入れ」を2月に提出していますが団体交渉は未だに開催されず、会社の対応も後手後手になっており、不満の声が多く出ています。

ひがし労はこのような状況だからこそ、働く者の立場に立って運動をつくり出していきます！

何もしなければ現状維持どころか悪化するだけ・・・

「命」と「生活」を守るために共にたたかおう！
ひがし労へ結集し、明るい未来をつくりだそう！